篠中だより 11 月号

校訓 『智』 『想』 『誇』

「自　律」
自分で考え、自分で判断し、行動できる

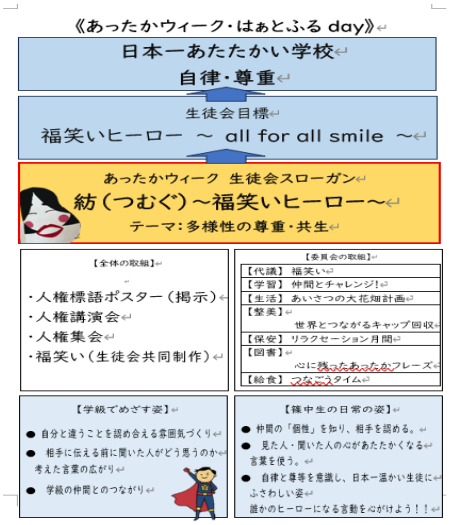
「尊　重」
違いを認め合い、相手の尊厳を守る

篠栗町立篠栗中学校	
校長　早川　昌吾	
生徒数	630名
1年生	210名
2年生	191名
3年生	229名

（自他共に）人を大切にすることを考える日…

篠中はぁとふる day

“ほっこり”させてもらえた一日でした



篠中では、その日が含まれる「教育の日」にあたる 11 月第 2 土曜日を含む 1 週間を**「あったかウィーク」**として、人権に関する学習、生徒作品の掲示など、人権についての考えを深める期間として位置付けています。

そして、最終日の土曜参観日を**「はぁとふる day」**とし、他者と自分自身を大切にするということについて考える日としています。今年の大きなテーマは**『多様性の尊重と共生』**についてでした。

はぁとふる day 当日の１時間目は、「互いの意見を尊重しながら合意形成を図る」プログラムに取り組みました。集団の意思決定を多数決で決めるよりも、「自分の意見を伝える」こと、「相手の意見を受け入れる」ことに狙いをおいて、納得解を模索していくことに取り組みました。

２時間目は、「多様な性の捉え方について」を大きなテーマとして、各学年で様々なケースにおける多様な性の捉え方についてみんなで考え、対話を通じて様々な考えに触れることができていたようです。

３時間目は、講師に“GID Link” **椎太 信** さんをお迎えし、多様な性に関する理解をすることの大切さについて学びました。椎太さんは、心理カウンセリング、コーチングを学ばれ、セミナーやカウンセリングを現職としておられ、当事者として性同一障害に対する理解が社会に広げられるように頑張っておられる方です。LGBTQ などに対する正しい知識を、わかりやすく優しく説明してくれながら、当事者の方たちの想いについても話していただき、生徒の皆さんにとっても実感を持ちやすい内容の講演でした。

講演を聞き終えた後、生徒会役員から以下のような謝辞を椎太さんへ伝えることができていました。

私たちは中学校でたくさんの喜びや悩みを経験しています。そんな日々の中で気づいたこと、それは「一人一人違う」ということです。（中略）私たちは、様々な考えや感じ方を持った人たちと関わっていきます。その時、相手の気持ちに寄り添い、互いの気持ちを尊重することがとても大切だと考えました。相手の考えや感じ方と大切にしながら、「みんな違ってみんないい」という気持ちをもっていきたいです。（中略）先生のお話を聞き、それぞれの違いこそが一人ひとりの魅力であり、その違いを認め合えることが、よりよい社会をつくる第一歩だと気づきました。

声高らかに「篠中生徒会人権宣言」

はぁとふる day　１日の最後には、全校生徒に**「誰かのヒーローになるために、これまでの学校生活でどんな行動をしたか」を寄せ書き**にした“共同制作物”の完成したものが披露され、生徒会長が全校生徒に向けて、この一年間に対するリーダーとしての想いも込めて、声高らかに**『篠中生徒会 人権宣言』**を発してくれました。

《篠栗中生徒会人権宣言》

「この１年間”福笑いヒーロー～all for all smile～”というスローガンのもと、委員会活動をしたり、行事を進めたりしてきました。

体育会では、縦のつながりを大切に、あたたかい輪ができ、体育会スローガンの“結”を達成することができました。文化発表会では、横のつながりを大切に、団結し、全校で１つの強い“紲”をつくることができました。

この、はぁとふる day を私たち第 69 代生徒会の集大成にしようと、このあらゆる場面で**「尊重」**を意識して取り組んできました。

そして、それぞれ異なる優しさの形が一つに重なり、**世界に一つの”福笑い“と日本一温かい学校にふさわしい”はぁとふる day“**にすることができました。これを、次の世代に繋げていくために、この１年間で知ることができた、篠栗中学校のあたたかさ、生徒一人一人が持つ優しさを忘れずに、温かい学校生活を送っていきましょう！

「みんな違ってみんないい」を体現できる、“自律”と”尊重”の精神を持った、温かさあふれる篠中生であり続けることをここに宣言します。」

自他の人権を大切にしなくてはならないことは、保護者・生徒の皆さんは全員理解していることだと思います。
ただ、理解しようとするだけでは、なかなか相手の想いに応えることは難しいものです。だからこそ「知ること」つまり、たくさんの立場や考えの人たちの話を聞いたり、それについて自分なりの考えを持ったりすることが大切になると思います。人権教育は本校教育の大きな柱のひとつです。**「～しなくてはいけない」と考えずに、「～することで、もっと深く知ることができ、もっとたくさんの笑顔が増えるため」にという想い**で取り組んでいってほしいと希望しています。　　・・・日本一温かい学校をめざして・・・

ス　ポ　ー　ツ　の　秋　!!

９月末からスタートした中体連新人大会。１０月後半からは、筑前地区大会。

１１月からは福岡県大会と、２年生を中心とした新チームで、夏休みからの練習の成果を試す機会です。手ごたえを感じた人たち、課題が残った人たち、それぞれの今後に生かしてください。新人大会は、あくまでも通過点。これからが大切です。

文　化　の　秋　!!

１１月９日（日）クリエイト篠栗において糟屋区中文連総合発表会をはじめ、文化部それぞれの腕前を披露しています。中文連では、茶道部のお茶会、ブラス・太鼓のステージ発表。そして、美術部等各制作作品が展示されていました。

また、太鼓部においては、町内の行政区からお招きいただくことが多く、イベントを盛り上げたり、住民の方々を元気づけたりすることに貢献できているようで、うれしい限りです。